

2020年度大会再開にあたっての諸方針

v20200704a

I 感染拡大防止ガイドラインの遵守

本連盟策定ガイドラインを遵守し、関連諸機関制定ガイドラインを尊重する。

II 大会参加資格について

- ・ロードレース：
- ・クラス3からクラス2への昇格：
RCSのラウンド数減少に伴いクラス3から2への昇格を通常時の5%から10%に拡大する。
- ・クラス2からクラス1への昇格：
前述理由によりクラス2から1への昇格を通常時1位迄から2位迄に拡大する。
- ・クラス1, クラス2の残留：
2020年度登記選手については、完走率に関わりなく
2021年度は2020年度と同一クラスでスタートする。
- ・学生選手権ロードレース：
大会までのRCSラウンド数が少ないことから、予選・決勝方式を採用する。
(大会要項は2020/7/19発表予定)
- ・インカレロードレース参加資格：
後日発表する。
- ・トラック参加基準
大会毎に特別な取扱の明記がない限り、例年とおりの参加基準とする。

III RCSのレース方式について

- ・レースの早い段階でなるべく小集団となることを企図してポイントレース方式を多用する。

IV TRSのレース方式について

- ・レースにおける密度を勘案し、個人タイムトライアル種目に重点をおく。

V インカレについて

感染拡大機会の最小化にむけて、以下の通りとする。

- ・トラック競技の開催日程を、3日間から2日間に縮小。
- ・実施種目を、オリンピック実施種目を基本として限定。
- ・タイム種目は1回の走行で決勝のみを行う方式とする。
- ・個人タイムトライアル種目のみとする代替案も検討する。
- ・ロードレースは、トラック競技と別日程とし、スタート時人数と走行距離を圧縮する。
(大会要項は2020/7/19発表予定)

VI インカレ以外の選手権大会について

- ・大会の性格、開催地の状況に応じた対応を行う。

以上